



平成 22 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 新光電気工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 黒 岩 護
 コード番号 6967 東証第 1 部
 問合せ先 経営企画室長 清 野 貴 博
 〒(026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山 本 正 巳
 コード番号 6702 東証、大証、名証各第 1 部

為替差損の計上および業績予想と実績との差異 ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における為替差損の計上、および同期間の連結業績予想と実績との差異、ならびに平成 23 年 3 月期通期連結業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 為替差損の計上

為替相場における急激な円高・ドル安により、平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）において、営業外費用に為替差損 18 億 52 百万円を計上いたします。

なお、上記金額は平成 23 年 3 月期末時点での為替相場により算出したものであり、今後の為替相場により為替差損益の金額は変動いたします。

2. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績との差異 （平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 22 年 7 月 29 日発表)	76,800	6,000	6,300	3,600	26.65
実 績 値 (B)	74,353	5,460	3,958	2,167	16.04
増 減 額 (B-A)	△2,447	△540	△2,342	△1,433	—
増 減 率 (%)	△3.2	△9.0	△37.2	△39.8	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	59,045	1,919	1,042	532	3.94

3. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正
(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 22 年 7 月 29 日発表)	160,000	13,300	14,000	8,000	59.22
今 回 修 正 予 想 (B)	143,200	5,500	4,100	2,200	16.29
増 減 額 (B-A)	△16,800	△7,800	△9,900	△5,800	—
増 減 率 (%)	△10.5	△58.6	△70.7	△72.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	129,836	5,358	5,432	3,188	23.60

4. 差異および修正の理由

半導体市場は、世界経済の回復ペースに鈍化の兆しが見られることなどを背景として、先行きの需要減速懸念が高まる中で推移しております。

当社におきましては、一部製品の需要が伸び悩み傾向を示す中、急激な円高・ドル安の影響を受け、特に、営業外費用に為替差損 18 億 52 百万円を計上したことから、経常利益および四半期純利益が想定を大きく下回り、業績予想数値と実績値に差異が生じることとなりました。

また、今後につきましても、景気の先行き不透明感が一層強まり、厳しい受注環境の継続が想定されるほか、為替相場は引き続き円高・ドル安基調で推移するものと見込まれることなどから、平成 23 年 3 月期通期の連結業績予想数値を修正いたします。

なお、通期業績予想の前提となる第 3 四半期以降の為替レートは、1 米ドル=80 円を想定しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上